

平成21年11月13日

日米クリーン・エネルギー技術協力について

2009年11月13日（金）に行われました鳩山総理大臣とオバマ米大統領による日米首脳会談において、日米クリーン・エネルギー技術協力に関する合意がなされましたので、お知らせいたします。

1. 鳩山総理大臣とオバマ米大統領は、日米首脳会談において、世界的なエネルギー安全保障及び気候変動という課題への解決策を提供するため、技術研究開発分野における既に強固な協力的取組を一層拡大するという日米両国の意思を確認しました。そして協力を強化する当面の共同取組分野に関するファクトシートを発表しました。
2. 経済産業省と米エネルギー省は、クリーン・エネルギー技術に関する共同研究を加速することで合意しました。そして両首脳が発表したファクトシートに基づき、重点的に共同研究を行う分野を特定し、「クリーン・エネルギー技術アクションプラン」としてまとめました。
3. 経済産業省と米エネルギー省は、このアクションプランに基づく活動をモニターし、新しい研究プロジェクトをアクションプランに加えます。双方はこの協力を、それぞれの国が個別に活動して達成できることより多くのことを、分担し、それゆえより低コストで、かつより迅速なペースでなし遂げることにより、必要とされる科学を進歩させる機会としてとらえています。クリーン・エネルギー研究に関するこのように強化された協力を通して、我々はクリーンかつ供給の安定した世界のエネルギーの未来に向かって、共同して進歩を加速することができると考えています。

(本発表資料のお問い合わせ先)

産業技術政策局産業技術政策課国際室長 山形

担当者：森田

電話：03-3501-6011（内線 3357）

資源エネルギー庁国際課長 小野

担当者：原

電話：03-3501-0598（内線 4491）